

全国7地区 日本歯科医師会  
平成28年度災害コーディネーター研修会

# 災害時歯科保健医療における 口腔アセスメント

東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学助教  
神奈川歯科大学大学院災害医療歯科学特任准教授

女川歯科保健チーム

新宿連絡会医療班

中久木 康一

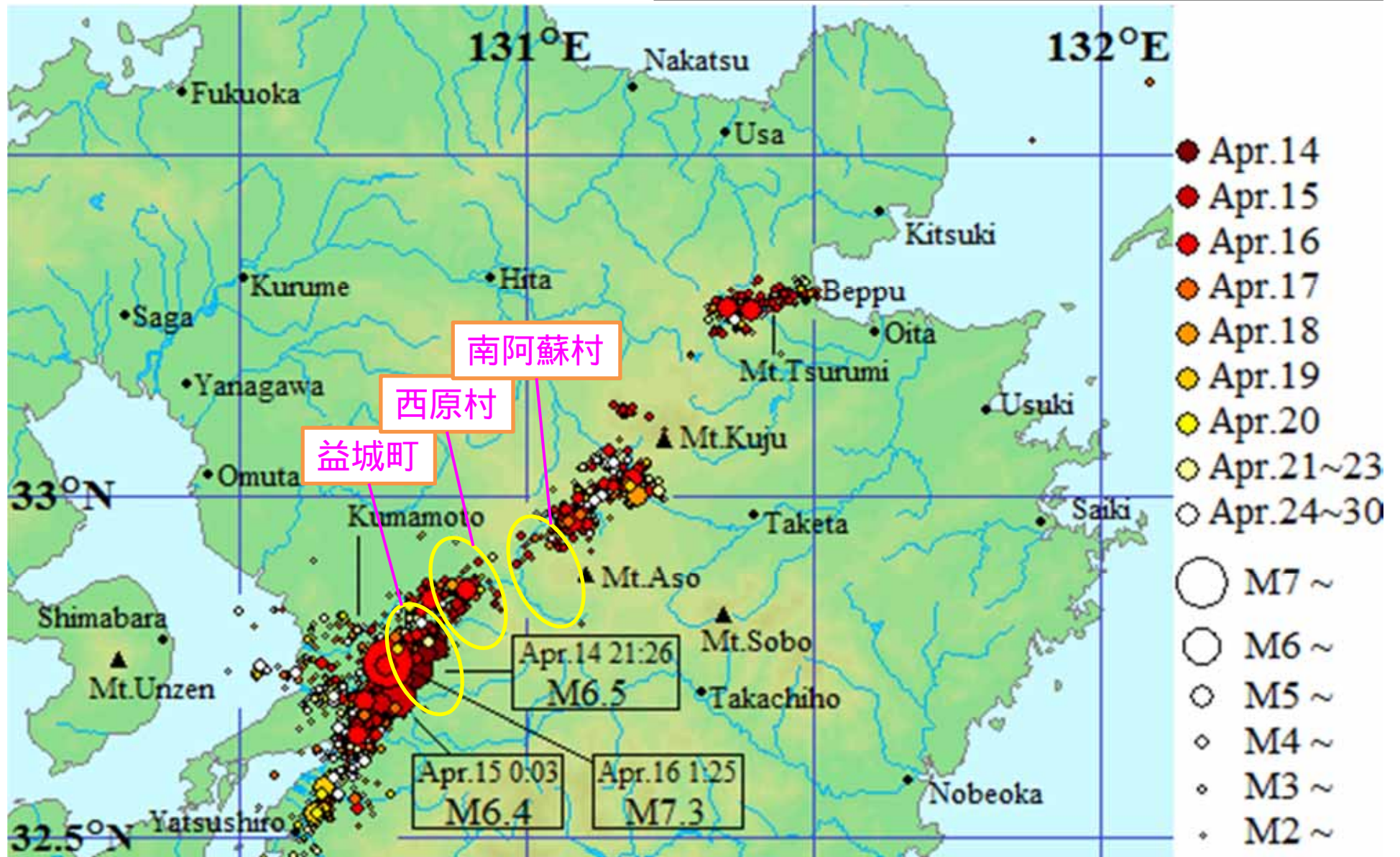
[nakakuki@biglobe.jp](mailto:nakakuki@biglobe.jp)

# 歯科支援チーム 活動方針

- 地域歯科医療体制の 維持・回復
- 避難所等における被災者の 歯科保健管理
- 福祉避難所・施設等における要援護者の  
口腔衛生管理
  
- 口腔感染症と誤嚥性肺炎の予防
- 「口から食べる」を守る支援
- 「口腔内細菌から体を守る」支援
  - － 口腔のケア・・・口腔内細菌の減量
  - － 口腔のケア・・・口腔機能(運動・うるおい)の保持

# 歯科支援 外部派遣チーム一覧

	4月23日 ~ 5月1日	5月1日 ~ 8日	5月8日 ~ 15日	5月15日 ~ 22日	
南阿蘇村	福岡県歯	大分県歯	宮崎県歯	福岡県歯	
	福岡県の3大学				
益城町	佐賀県歯	長崎県歯	鹿児島県歯	沖縄県歯	
	兵庫JMATの歯科(兵庫県病院歯科医会)				
西原村			山口県歯科医師会		
その他	鹿児島JMAT	鹿児島県大学(全国知事会)			
	山口JMAT			福島JMAT	



# ニーズとは

- 一般的に言うニーズ
- 外部が限られた情報(あまり正確ではない)をもとに、現場を無視して勝手に考えるニーズ
- 内部でかつ支援者をさせられる医療者の地域ニーズ評価
- 外部支援を受け入れさせられる医療者の受援ニーズ

# タイミングによって違う

直後 ( ~ 1週間 ? )

- **プッシュ型支援**
  - 可能性のあるもの何でもとりあえず
  - 要らなければ逆にラッキー

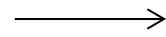
体制構築後 ( 1週間 ~ ? )

- **需要に応じた補給**
  - プッシュ型支援で不要だったものは引き揚げ  
引き継ぎ、撤収

ニーズ  
(必要性)



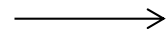
ウォンツ(願望)  
(デザイア(欲求))



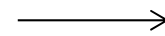
顕在化

デマンド  
(要求・要望)  
実行動

腹減った！



肉食べたい！



安くて腹いっぱいになるから牛丼屋に行きたい！

利用者が必要と感じているニーズ  
(フェルトニーズ):主観的

本人が語らないところに本当のニーズがある  
本人が気づかないところに別のニーズが隠れている



援助者としての専門的なアセスメントによって顕在化させる

援助者により判断されるニーズ  
(ノーマティブニーズ):客観的

# 生じるニーズのギャップ

- 支援医療者
- 派遣医療者
- 現地での支援活動決定組織
- 派遣組織
- 住民(被支援者)
- 地域医療者
- 被災した地域医療者
- 被支援組織



# こちらから見に行く必要性

- 入院中には、ナースコール以外に、検温や回診がある
- その時のちょっとした会話から出てくるニーズはたくさんある
- 行かなければ本当のニーズはつかめない
- もとより、ナースコールができない人もいる  
(要援護者)

# 医療ニーズ ≠ 保健活動ニーズ

歯科医療ニーズ

患者(自分)主体

Right Now!  
(歯科医院の再建)

地域行政としての歯科  
保健活動の必要性

包括的観点  
(健康づくり・コスト?)

未来  
(まちづくり)

≠

# コーディネーター

- 子どもが熱を出して病院に行った時
  - 受付の対応が悪かったとしても、
  - ギャルな看護師がタメ語だったとしても、
  - 医者 の態度が横柄だったとしても、
- **子どものため**にはとぐっところえて
  - 気にしないよう割りきって気持ちを切り替え、
  - 頭を下げて謝りお願いしていい治療が受けられるように調整し、
  - ありがとうございますと礼まで言う

# コーディネーター

物品も人員も揃わない

集まった人員は、お互いの目的もやりたい  
ことも常識さえも違う

どんな整わない環境であろうとも

あくまでも**被災住民の利益**を中心に置き

どういう妥協点があるかを探って提案して  
**共通認識**を作り

そして、**遅延なく過不足なく届ける調整**を  
する

# 災害時歯科保健医療における 口腔アセスメント

- **災害時の歯科保健医療**
- 口腔アセスメント票の標準化
- 口腔アセスメント票の活用
- 期待される支援を提供するために

# 歯科救護の対象

	対象	内容	連携
犠牲者	犠牲になられた方	個人識別 への協力	警察 海上保安庁 監察医 etc.
健康問 題を抱 える人	痛みのある人 通院中だった人 義歯破損・不適合の人	医療活動	災害拠点病院 DMAT / JMAT 日赤 etc.
健康問 題のな い人	特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害) 有病者(糖尿病) 乳幼児・小児	保健活動	自治体 保健所 保健センター etc.

# 災害時の歯科保健医療支援活動

発災

犠牲者

## 1) 遺体の身元確認への協力

身元確認

健康問  
題を抱  
える人

## 2) 応急歯科治療

応急歯科診療

健康問  
題のな  
い人

## 3) 歯科保健活動

歯科保健活動

# 大規模災害時には歯の問題も見逃しません！


95年の阪神・淡路大震災や04年の新潟県中越地震など、大規模災害は突然私たちの生活を襲います。被害の状況によっては、避難所等での生活が長期にわたることも。その際、見過せないのが歯に関する問題です。被災直後に必要な歯科医療はケガの治療が中

心ですが、1日、2日と経つにつれて、入れ歯がなくて食事がしづらくなり、歯みがきができず歯肉炎や歯周炎になった、などの問題が表面化してきます。致命傷となるケースは少ないとはいえ、毎日の生活には大きく影響するのが歯の問題なのです。

## 大規模災害時に見られる、歯に関する問題点


### 歯が痛い

歯が痛くなっても治療を受けることができます。痛みを何日も我慢しなければならぬ方もいました。



### 入れ歯をなくした

地震とそれに続く火災により、入れ歯を持ち出す間もなく避難した高齢者の方々は、食事にもたいへん苦労しました。



### 阪神・淡路大震災(95年)のときは...

●兵庫県内の仮設診療所では(医師1952人、2344棟)


●その他 2.1%

脱離	14.1%
歯肉不適合	10.3%
歯肉剥離	3.9%
外傷	2.3%
粘着状態	1.0%
脱落	14.5%
歯肉炎	7.6%
う歯	16.8%
歯髄炎	10.8%
歯根膿瘍	16.6%

資料：「阪神・淡路大震災と歯科医療」兵庫県歯科医師会


### 歯みがきができない

歯ブラシがない、水がないなどの理由で歯みがきができず、口内炎、歯肉炎、顎炎になるなど、歯ぐきが腫れたり、膿んだりする方もいました。



### 差し歯が取れた

避難所生活の中で差し歯が取れてしまった被災者の方もいました。



### お口のケガ

災害によってあごや口の中にケガをしたり、歯が折れてしまった方もいました。



### Data

●被災約1ヵ月後の避難所での聞き取り調査(調査人数166人)

治療を必要としている人数→74人

歯肉炎	14人
歯肉の腫れ及び調整が必要	14人
歯肉性脱離	4人
顎関節症	19人
治療中	4人
口内炎	4人
う蝕	4人
その他(しみる、動揺、歯肉折れなど)	

資料：「阪神・淡路大震災と歯科医療」兵庫県歯科医師会

## 被災地域・避難所での歯科保健医療救護活動

### 新潟県中越地震(04年)・中越沖地震(07年)などのときは...

#### お口のケガ人の搬送



災害時、あごの骨折など大きなケガをした方は、救急病院へ搬送します。

#### 口腔ケアの実施



歯科医師、歯科衛生士らが地域や避難所を巡回し、歯科保健活動を行います。

### 避難所・仮設住宅等



### 歯の応急処置



入れ歯が使えず、食事が困難な方などに、応急の歯科治療を行います。

### 仮設診療所の開設



歯科診療車やポータブル歯科診療機を用いた仮設診療所を開設します。

### その他にも...

#### 歯による身元確認



遺体の身元確認において、歯科所見が活用されます。

### 歯科保健医療にできることがあります

新潟県中越地震や中越沖地震のときは、主に避難所や仮設住宅などで、口腔ケアなどの歯科保健医療救護活動が行われました。このように、阪神・淡路大震災の経験から大規模災害時の歯科保健医療に関する課題が明らかになり、その後の各地の地震災害では、さまざまな活動が行われるようになってきました。歯科保健医療を通じて被災地の方々の生活を支援するため、日ごろからの救護活動の体制整備が進んでいます。



# 災害時口腔ケアの実際

1

歯ブラシ、歯間ブラシによる清掃指導



口腔清掃が不十分だと、歯周病や口内炎などを発症したり、症状が悪化するため、少量の水でも出来るうがいや、歯みがきなどの指導を行います

2

児童に対する食事指導



支援物資には菓子パンやお菓子なども多いため、間食指導・歯みがき指導により食生活の平常化を目指します

3

高齢者に対する入れ歯の洗浄、補水指導



高齢者の避難所生活では、入れ歯の清掃不足、水分補給の不足による脱水、不十分な食事による体力低下などで、呼吸器疾患など様々な疾患にかかりやすくなるため、予防のための指導を行います

4

集団に対する啓発活動



個別の指導とともに、掲示物やパンフレットなどを通じて、被災者の方々が適切な生活習慣を取り戻せるよう、サポートを行います

歯周病の悪化、う歯の発生、口内炎、発熱(誤嚥性肺炎)などの予防

# 被災地域・避難所での 口腔ケア活動

## 避難所の巡回



## 仮設住宅の巡回 (1カ月後～)



※自宅の要援護被災者も含む

### 歯科保健医療 関係者

- 歯科医師会
- 歯科衛生士会
- 歯科技工士会
- 自治体歯科保健担当者
  - 歯科大学
- 歯科衛生士 / 歯科技工士養成校
- 地域歯科関係者

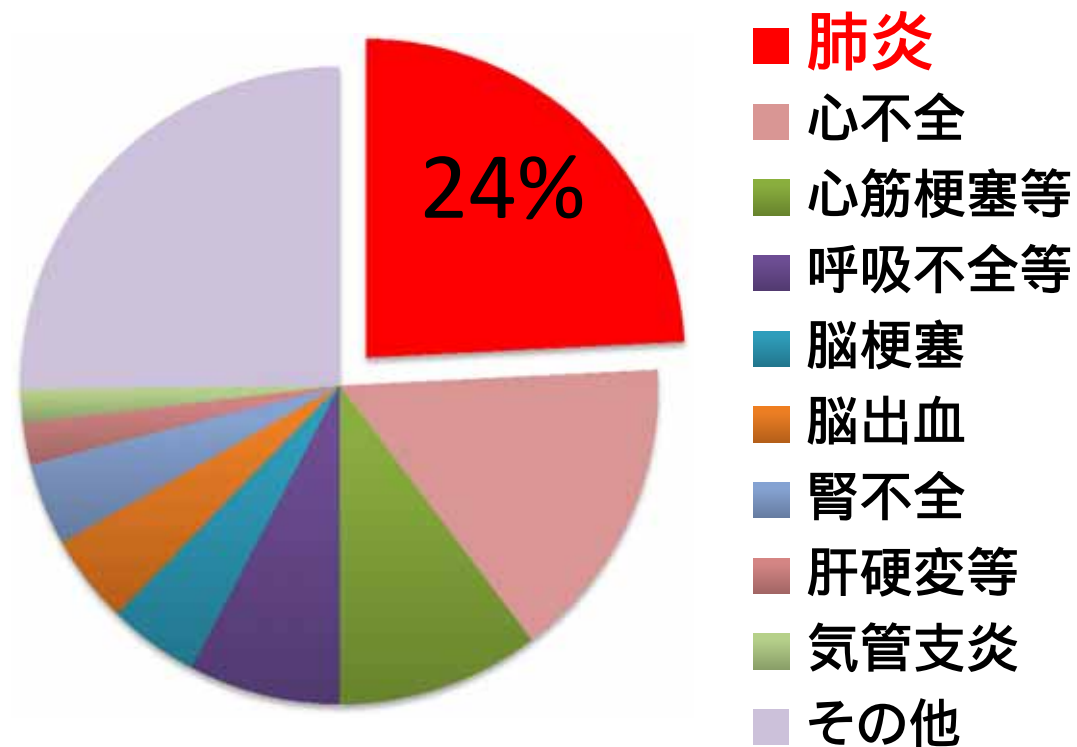
## 福祉避難所の巡回



## 中長期的支援活動 (～数年間)



# 阪神・淡路大震災における 災害関連死



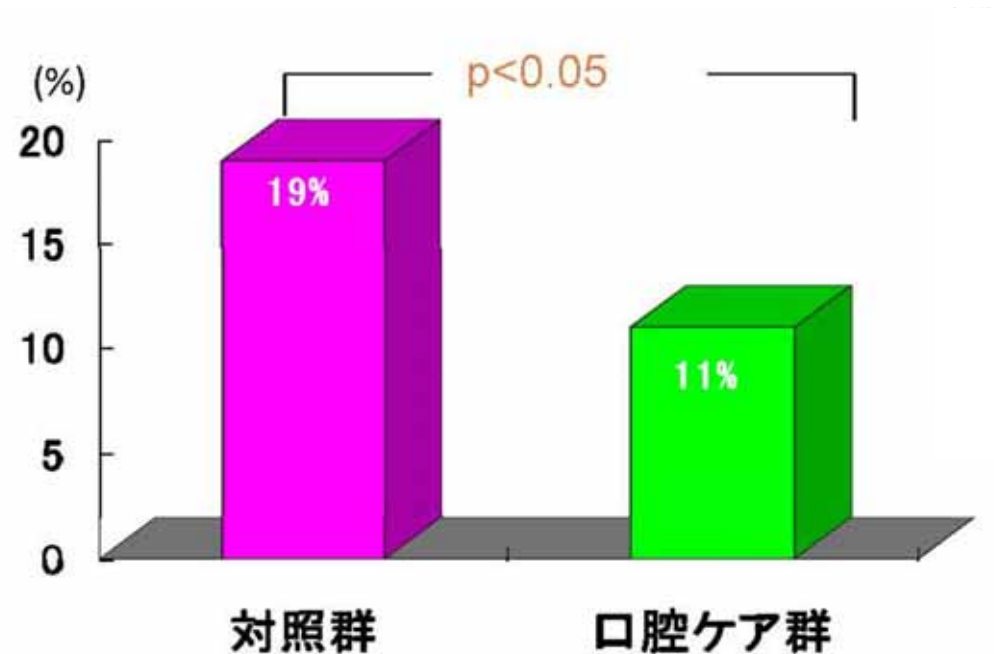
災害関連死: 921

全犠牲者数: 6402

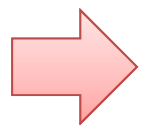
神戸新聞, 2004.5.14

# 口腔ケアにより特別養護老人ホーム における肺炎の発症率が低下した

## 2年間の肺炎発症率



Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H : Lancet 354(9177), 515, 1999.



特に高齢者や障害者などの要支援者に対して、  
口腔ケアが提供されるようになった

## 阪神・淡路大震災

## 新潟県中越地震

犠牲者

6,434

68

震災関連死

921 (14.3%)

52 (76.4%)

震災関連死  
における肺炎

223 (24.2%)

8 (15.3%)

仮設住宅孤独死者数 233  
復興住宅孤独死者数 717

75歳以上: 6名  
(平均年齢86.8歳)

みんなで 楽しく、気持ちよく、実践しよう  
**健康にいがた21**  
STEP1 Let's Check!! あなたは大丈夫?  
じぶんの健康状態を知ろう  
メタボリックシンドローム  
じぶんの身体活動量  
食事バランスガイド  
あなたのこころ健康ですか?

STEP2 Let's TRY!! 取り組んでみよう 健康づくり

文字サイズ変更: +

食事と会話を楽しむための 歯や口の健康

ヘルシースマイル21 にいがたの歯科保健計画  
ヘルシースマイルの概要

一覧にも

ヘルシースマイル21: 戻る |

「県民一人ひとりの歯・口腔の健康づくりが日常生活の中で習慣化され、将来の世代に伝えられること」の実現を目指し、推進するための歯科保健医療計画です。  
平成25年度から平成28年度までの計画です。

## <新潟県における災害時歯科保健医療活動の根拠>

「新潟県地域防災計画（震災対策編）（H25. 3月）」より引用

〔医療救護活動〕

第3章第18節「医療救護活動計画」

1 計画の方針

県、市町村、医療機関及び医療関係団体は、緊密な情報共有と協力体制の下に、災害の状況に応じた適切な医療（助産を含む。）救護を行うものとする。

(1) 基本方針

ア 各主体の責務

(略)

(カ)医療救護班及び歯科医療救護班編成機関は、県から救護班の派遣要請があった場合、また、災害拠点病院は、派遣要請がない場合においても、被災状況等に応じ自らの判断で医療救護班を派遣する。

- 新潟県と新潟県歯科医師会は、救護班の派遣等の災害救助の協力に関する協定を締結しています。

[http://www.kenko-niigata.com/21/step2/sp\\_kuchi/pdf/keikaku/saigaijisika.pdf](http://www.kenko-niigata.com/21/step2/sp_kuchi/pdf/keikaku/saigaijisika.pdf)

- (イ) 市町村保健師の協力を得て、巡回計画作成
- (ロ) 福祉保健課：必要に応じて、他の健康福祉（環境）部からの応援態勢を確立

#### イ 災害時要援護者の健康状態確認及び保健指導実施

- (ア) 地域振興局健康福祉（環境）部長が保健師を中心として編成（必要に応じて医師、栄養士、精神保健福祉相談員、**歯科衛生士等追加**）

被災地区の避難所、仮設住宅等を巡回

- (イ) ケースへの適切な処遇のため、医療救護、防疫対策、栄養指導、精神救護及び福祉対策関係者等と連絡調整

- a 災害時要援護者及び人工透析患者等の健康状態の把握及び保健指導
- b 難病患者、精神障害者等に対する保健指導
- c インフルエンザ等の感染症予防の保健指導
- d 有症状者への受診勧奨、悪化予防の保健指導
- e 不安の除去等メンタルヘルスへの対応

#### f 口腔保健指導

「災害時医療救護活動マニュアル（H25. 4月）」により引用

〔医療救護活動〕

第3章 被災地外の医療救護班活動マニュアル

2 歯科医療救護班

(1) 歯科医療救護班の派遣

イ 県医務薬事課は、市町村、**県歯科医師会**、医療機関等からの派遣要請を受けて関係機関に対し、歯科医療救護班の派遣を要請します。また、災害状況等を勘案し、**派遣要請がない場合でも必要に応じ**、歯科医療救護班の派遣を要請します。



## 被災地での健康を守るために



厚生労働省  
平成23年3月18日版

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震は、未曾有の大災害であり、多くの尊い命が失われ、様々な健康被害が発生しています。震災直後の救命救急医療の提供が重要である一方で、今後、被災地での避難所等における生活が長期に及ぶ可能性もあり、その際にも様々な健康への影響が懸念され、健康を守るための対策が重要です。

避難生活の際に、病気にかからないよう、また、できるだけ健康に過ごしていただくため、大切なことを以下にまとめました。被災者を支援する方々にも、これらのことを知っ

### 歯と口の清掃（口腔ケア）・入れ歯

歯・口・入れ歯の清掃がおろそかになり  
（中略）

誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症を引き  
おこしやすくなります

歯とお口の健康小冊子<<http://www.8020zaidan.or.jp/magazine/index.html>>、  
口腔ケア<<http://www.8020zaidan.or.jp/care/index.html>>が提供されています。

3. こころのケア

4. 慢性疾患の方々へ

5. 妊婦さん、産後間もないお母さんと乳幼児の健康のために

# 災害時の口腔ケア

時期	対象	場所	問題点	内容	対応者
急性期	一般	病院	易感染性	徹底した個別口腔ケアの提供	看護師， 歯科衛生士， 歯科医師 など
急性期 ～慢性期	要援護者	福祉避難所 / 高齢者・ 障害者施設	介護力ダウン，ライフラインダウン	個別の口腔ケア・指導， 口腔ケア用品の提供	歯科衛生士， 歯科医師， 言語聴覚士， 介護福祉士， など
		在宅	孤立(情報不足，交通手段不足)		
慢性期～	一般	避難所	環境の不備(洗面所，うがい水，など)	口腔ケアの啓蒙， 口腔ケア用品の提供	歯科衛生士， 歯科医師 など

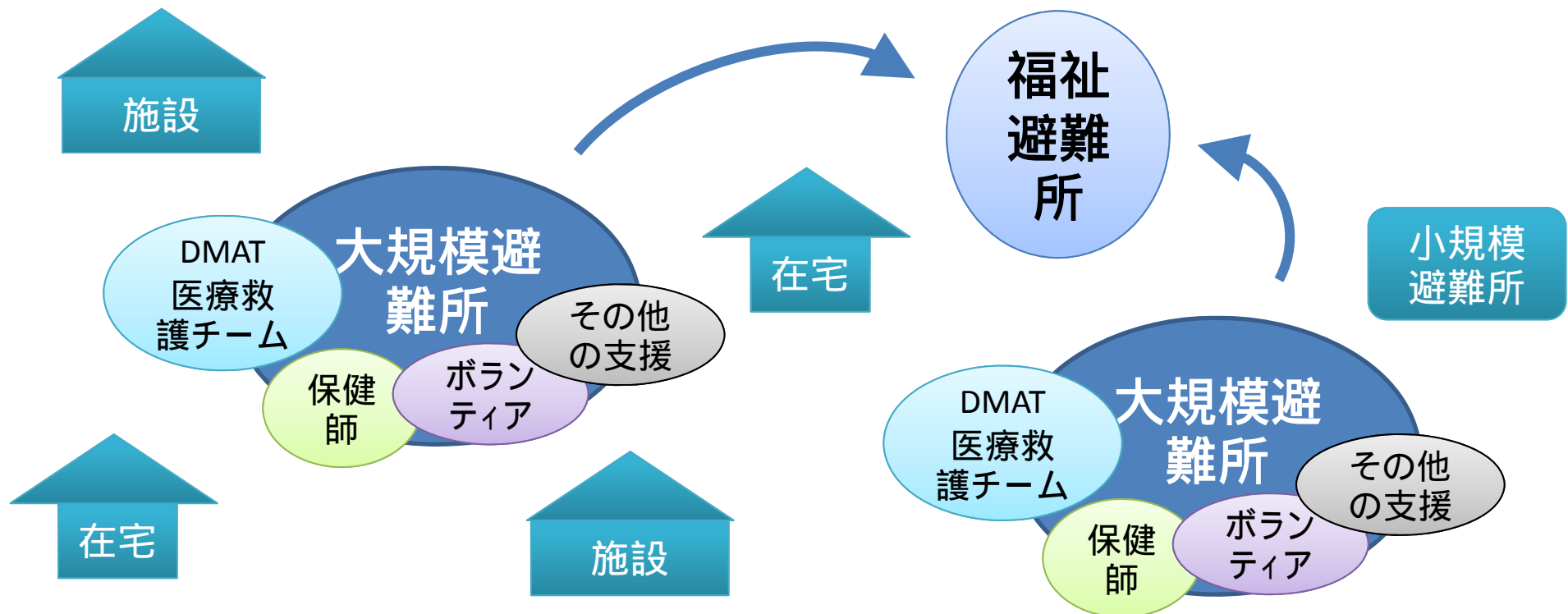
# 歯科支援で最も緊急なもの？

- 遺体の身元確認も大切，でも**生きている人が生き延びることはもっと大切**．
- 義歯がなくて食べられない人に義歯をつくるのも大切．でも義歯がなくても安全に栄養摂取できるものを供給し，**二次被害を起こさないようにするケア（誤嚥性肺炎予防の口腔ケア）はもっと大切**．

気仙沼歯科医師会 金澤洋先生

# フェーズ0から保健が必要な人は？

- ・ ライフラインが断たれ、介入が断たれた、在宅・在施設の要援護者





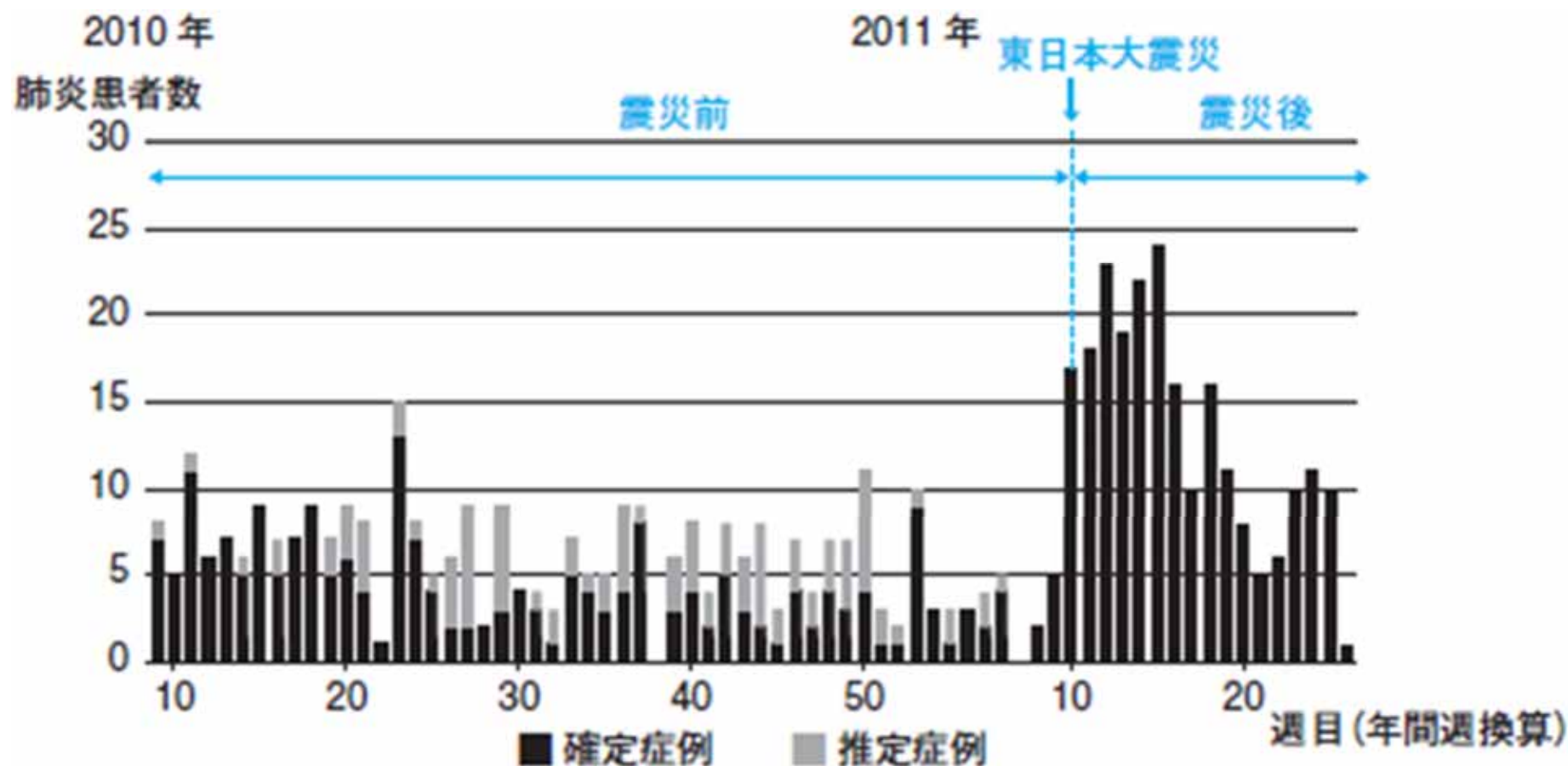
OPEN ACCESS

ORIGINAL ARTICLE

Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study

- 2010年3月から2011年6月までの気仙沼市内の3病院における成人の市中肺炎の発症率および関連死亡率を評価した。
- 肺炎による入院および死亡の平均週別発生率は、大震災後3ヵ月間にそれぞれ5.7倍および8.9倍に有意に増加したが、最大の増加を示したのは震災後2週間であり、2011年6月中旬までに発生率は徐々に低下して通常レベルとなった。

# 1週間当たりの入院肺炎症例数 (2010年3月1日 - 2011年6月30日)





OPEN ACCESS

ORIGINAL ARTICLE

Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study

- 震災後に入院した患者(225人)のうち、津波による溺水を経験したのはわずか3.6%(8人)であり、大多数(ほぼ90%)は65歳以上の高齢者であった。
- 震災後肺炎症例の特徴として、避難所・介護施設からの入院患者数が多かった(溺水関連症を除く217症例:自宅から117例・介護施設40例・避難所から60例)。



OPEN ACCESS

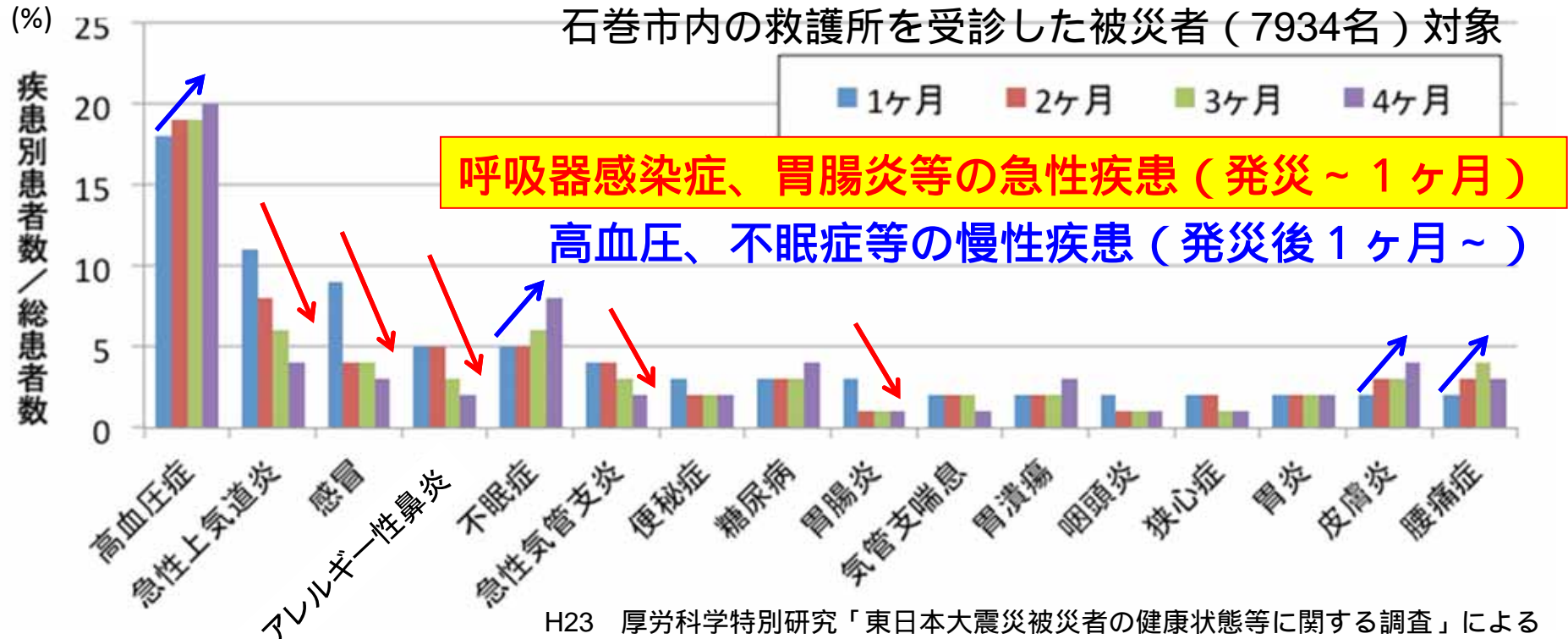
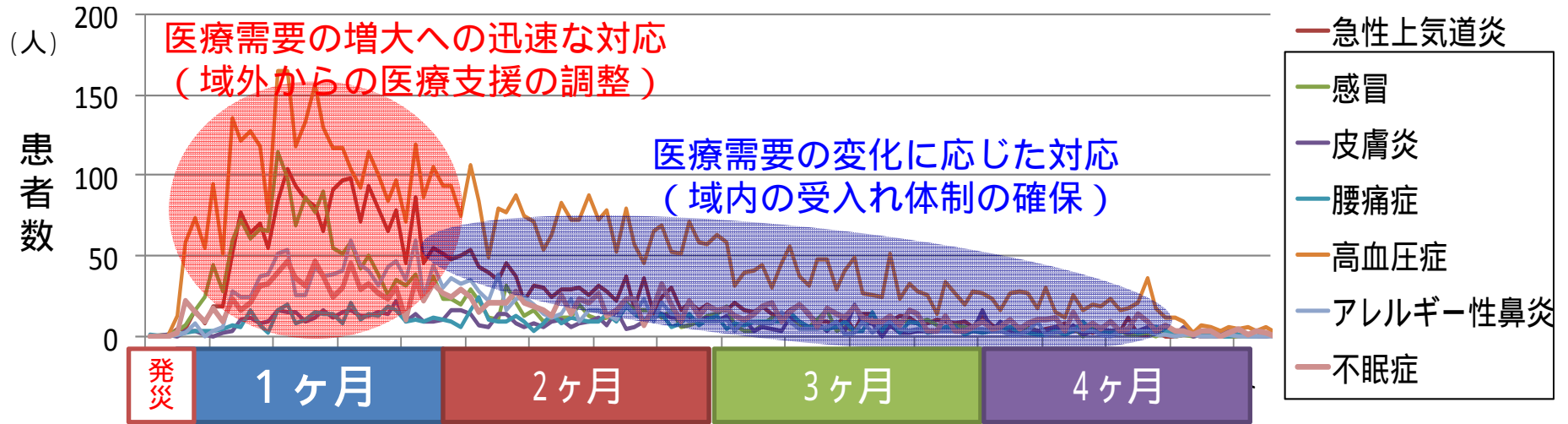
ORIGINAL ARTICLE

Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study

- 性別, 年齢は震災前後での差はなかった。死亡率は、介護施設からの入院は45%と高く、避難所からの入院は10%と低い傾向にあった。
- インフルエンザなど特定の病原体との関係は認められなかった。
- 「被災者への肺炎球菌ワクチンの使用に加え、最適な居住環境、健康診断および口腔衛生ケアの提供を、自然災害被災後の高齢者に対する最優先事項としなければならない」。



# 被災地における医療需要の経時的変化

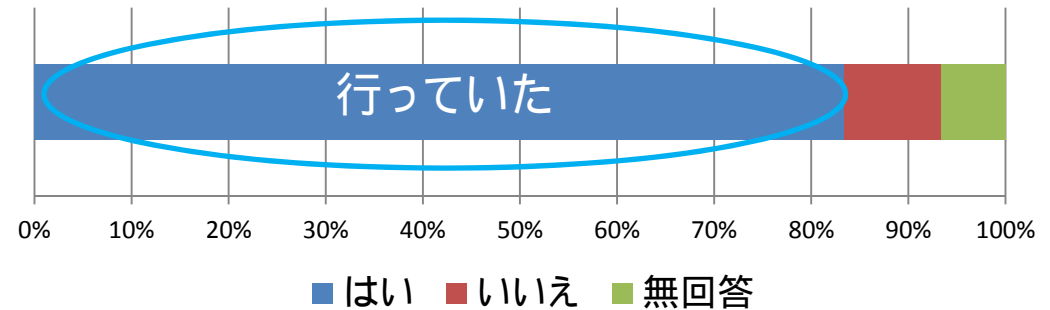


# 被災地 介護保険施設における 看護・介護職員を対象とした実態調査

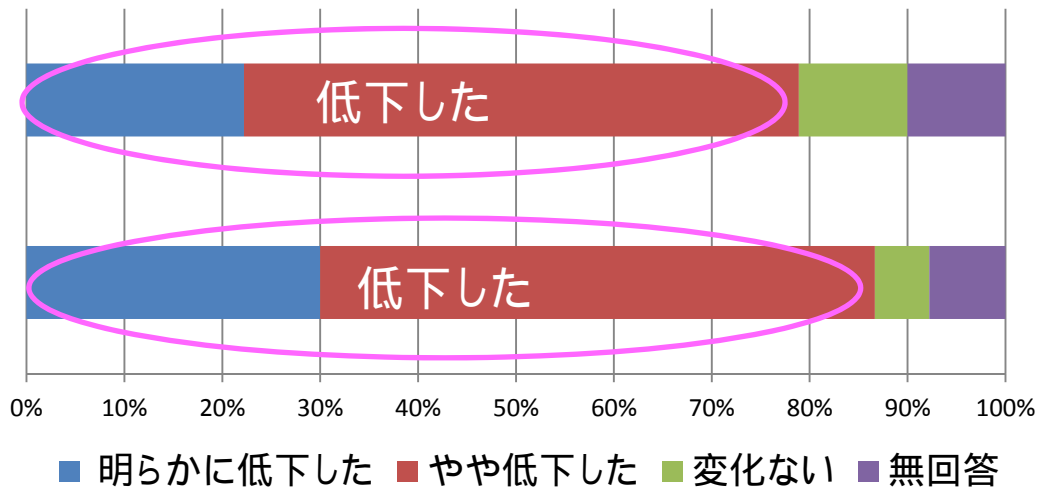
調査施設: 東日本大震災被災地 市 特別養護老人ホーム 2施設

調査対象: 90名 (看護職12名, 介護職64名, その他14名)

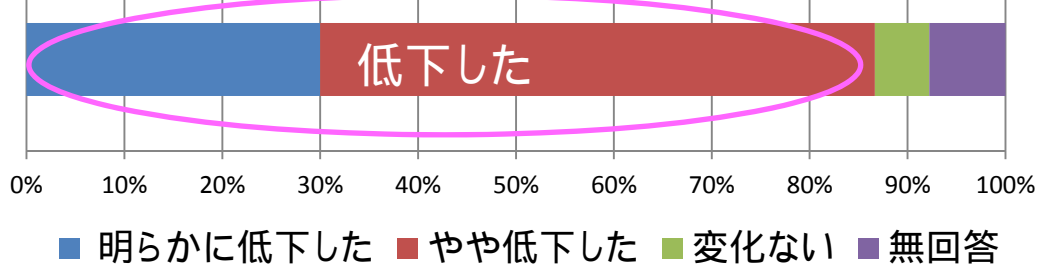
震災前, 施設で口腔ケア  
を行っていたか?



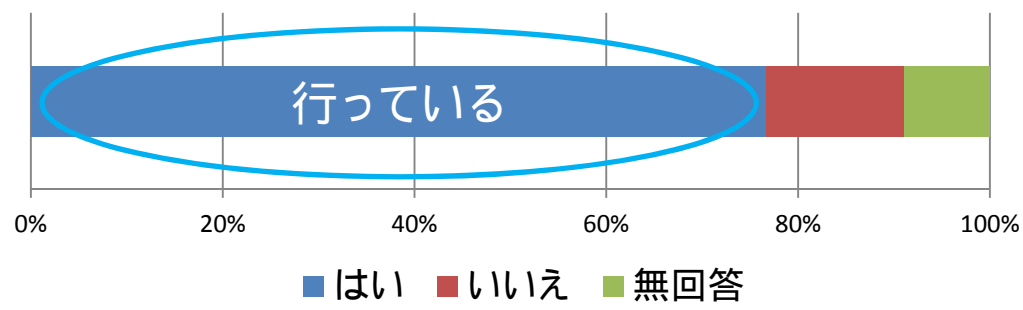
震災後利用者のADLは  
低下したか?



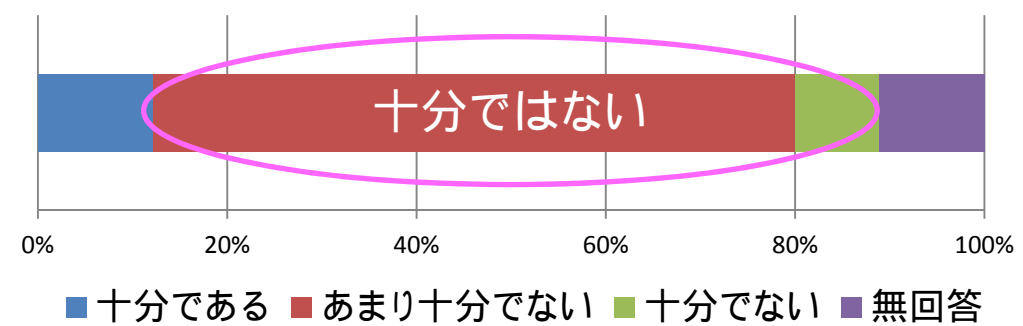
震災後利用者の口腔衛生  
状態は低下したか?



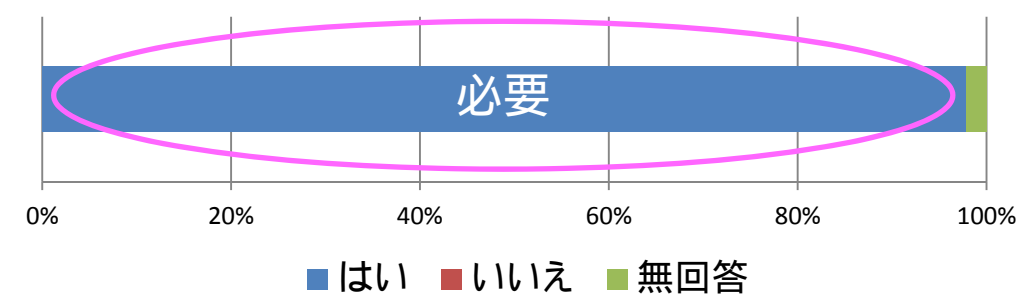
震災後(約3か月後) 口腔ケアを行っているか？



現在の利用者の口腔ケア・口腔衛生状態は十分か？



口腔ケアに関して歯科の助言や指導は必要か？



社会福祉施設に対する中長期的な支援の必要性

# 時間的経過と歯科保健医療支援活動

短期的歯科保健医療支援活動

長期的歯科保健医療支援活動

フェイズ1

フェイズ2

フェイズ3

口腔顎顔面外傷への対応  
応急処置 後方支援病院への搬送

応急歯科診療

定点診療：歯科医療救護所 仮設歯科診療所

巡回診療：避難所巡回診療

災害関連疾病の予防

病院・高齢者介護施設・福祉避難所巡回口腔ケア

避難所巡回口腔ケア

在宅巡回口腔ケア

口腔衛生指導 / 口腔衛生啓発活動

地域歯科保健活動

訪問口腔ケア検診活動

仮設住宅 居宅

介護保険施設

警察歯科医会活動

歯科的身元確認 個人識別資料の採取と照合

# 平時からの準備

- 具体的には、平時から、災害時の準備をしておくということ？
- それとも、平時から、**大災害にも対応できる、超小さな災害への対応システム**を運用するべき？
- より広い範囲、より多岐に渡った内容の**地域包括ケアを整えて行くことが、災害時の対応に結びつく**と考えれば、普段からやっているシステムの延長で、対応できることとなる

# 地域包括ケアにおけるBCP

Business Continuing Plan = 事業継続計画

- 歯科としての目標は、「**誤嚥性肺炎で命を落とす人をゼロにする**」
- このためには、普段から地域の全ての**高齢者・障がい者・介護福祉施設に、歯科の誰かが関わって継続的なケアをしていることが前提**となる
- そのうえで、その**機能をみんなで助け合って維持**していく
- 住民は移動し続け、**地域も変化しつづけることに、対応しつづける必要がある**

# 災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか

# 災害時歯科保健医療における 口腔アセスメント

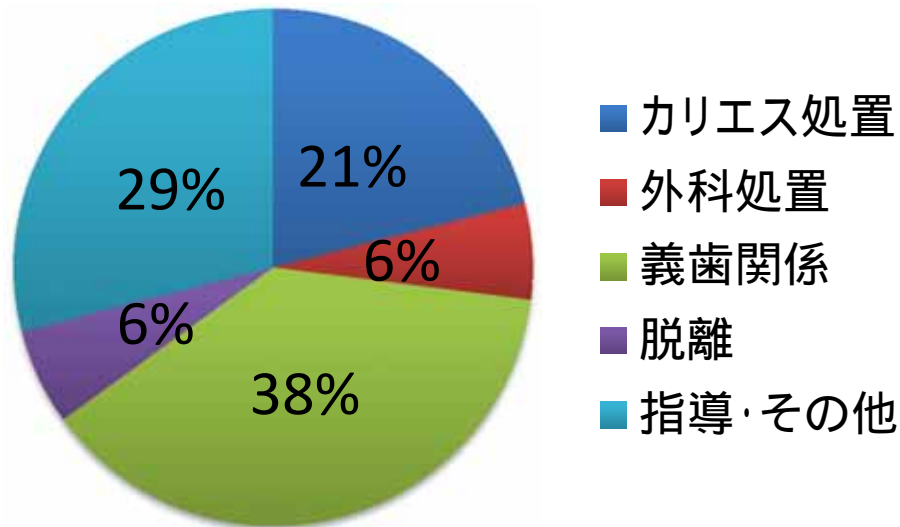
- 災害時の歯科保健医療
- 口腔アセスメント票の標準化
- 口腔アセスメント票の活用
- 期待される支援を提供するために



# 東日本大震災 岩手県歯科医療班の治療内容

2011年4月～5月治療内容  
 (患者総数1457名、男性612名、女性845名)

## 処置内容別割合



### カリエス処置

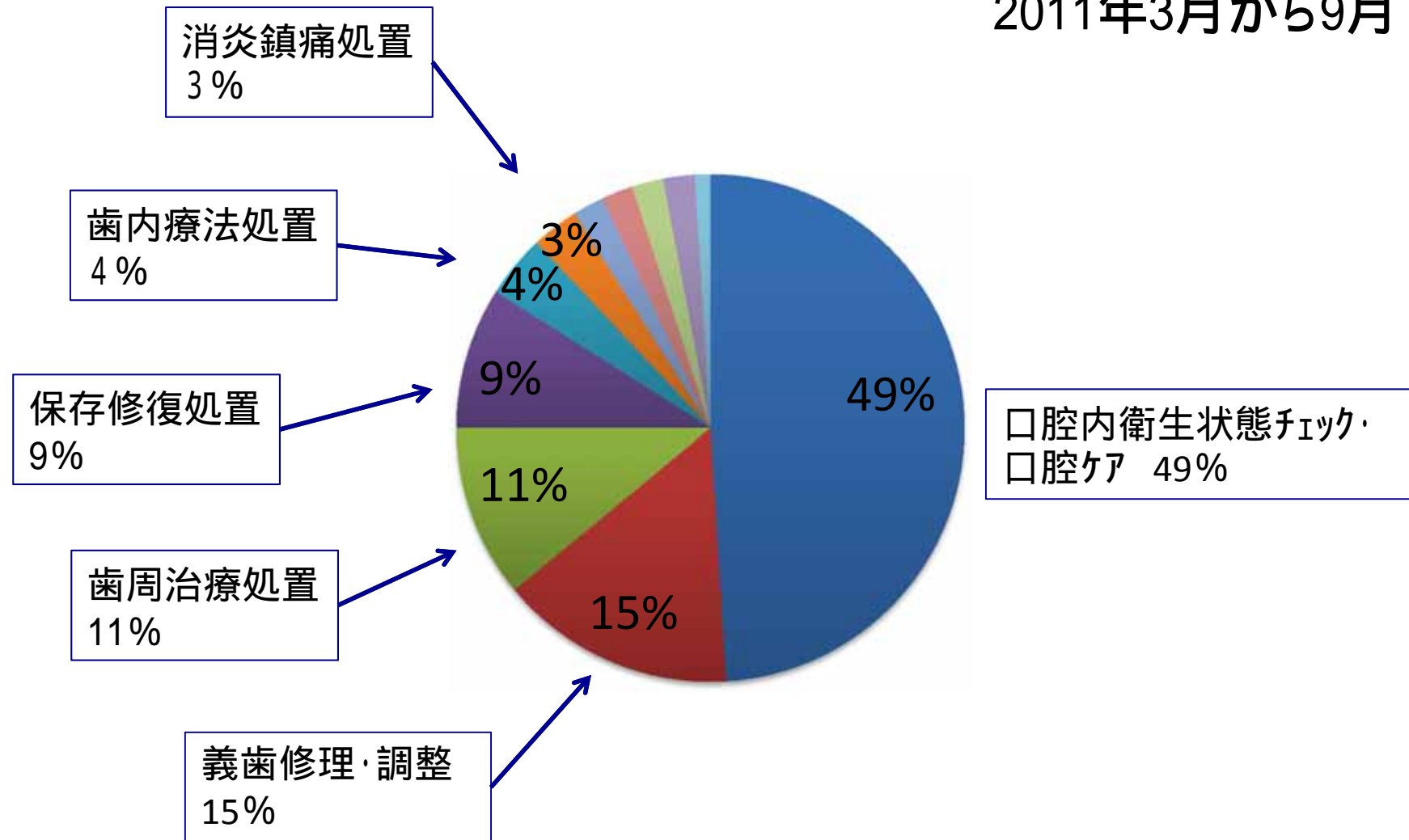
抜髄	12
根管処置	58
充填処置	110
普通処置・他	149
計	329

### 義歯関係

義歯調整	196
義歯修理	122
T-Cond	62
リベース	62
義歯新製	64
印象・BT	71
計	577

# 東日本大震災 宮城県歯科医療班の治療内容

2011年3月から9月



# 現状での各種記録様式の問題点

- 様式が都道府県・チームごとで異なり、広域で地域全体を集計できない。
- とくに大規模災害では都道府県を越えて支援することとなり互いに情報を共有できる共通の様式が必要。
- データに母数がない、年齢が不明、やったことは書いてあるがやっていないのかわかるとは不明。よって、%が出せないなど、需要の把握が困難。

評価して、これから、もしくは次の災害時に生かして行く情報が得られない

# 共通の記録様式の提案

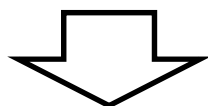
- 全国で、かつ多職種で、共通した様式が必要。それを、平時から手に入り用意しておくことが必要。
- やっていかないのか？ やったが不明だったのか？などで迷うことないように、各項目ごとにチェックボックスをつくっておいて、全て埋めてもらうなど、後の集計整理を考えた様式が必要。

評価しにくい情報が、活かせる情報へ！

# 全国歯科医師会調査報告「大規模災害時の 歯科保健医療の供給体制の構築」から

(日本歯科医学会、H25年3月)

- **初動時の体制における行政との連携不足**
- **需要情報収集・需要分析の不足**
  - マニュアルに不足、特に社会福祉施設(介護保険施設)における需要情報収集・需要分析はほぼ皆無
- **歯科保健医療支援活動の連絡調整の不足**
  - 歯科保健医療支援チームの**指示系統は未確立**
  - 後方支援体制の構築にあたっての**情報不足**
  - 外部からの派遣受け入れ窓口は歯科医師会が多いが、方法論は未定
- **口腔ケアなどの支援活動自体も、方法論が未統一**



行政との連携は大いに期待されているが、**行政における災害歯科医療のコーディネート業務は規定・統一されていない**



# 歯科の「共通」アセスメント

「災害時公衆衛生歯科機能について考える会」提言，平成25年10月

目的：継続的な共通アセスメントにより、必要な時に必要な所に必要とされている支援を届ける！

## \* フェーズ

レベル1 (全体レベル) 他職種主導

## \* フェーズ ~ 継続的に

レベル2 (集団レベル) 自治体主導 (多職種、歯科職も)

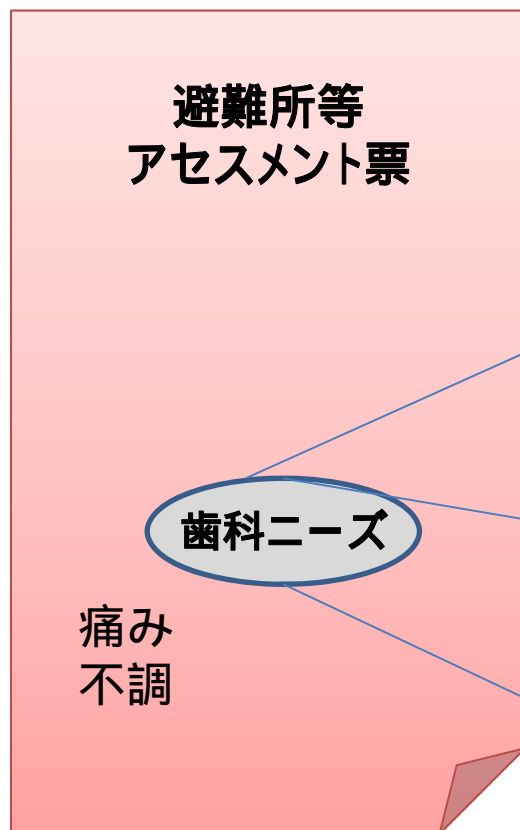
## \* フェーズ ~ 継続的に

レベル3 (個人レベル) 現場 (歯科医師会・歯科衛生士会) 主導

# 歯科口腔ニーズアセスメントのレベル

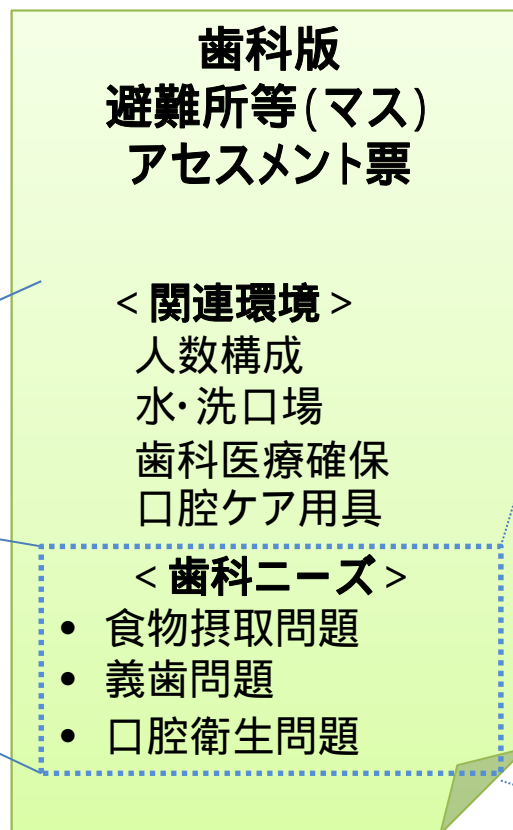
公衆衛生職  
共通の眼

レベル1 - 全体



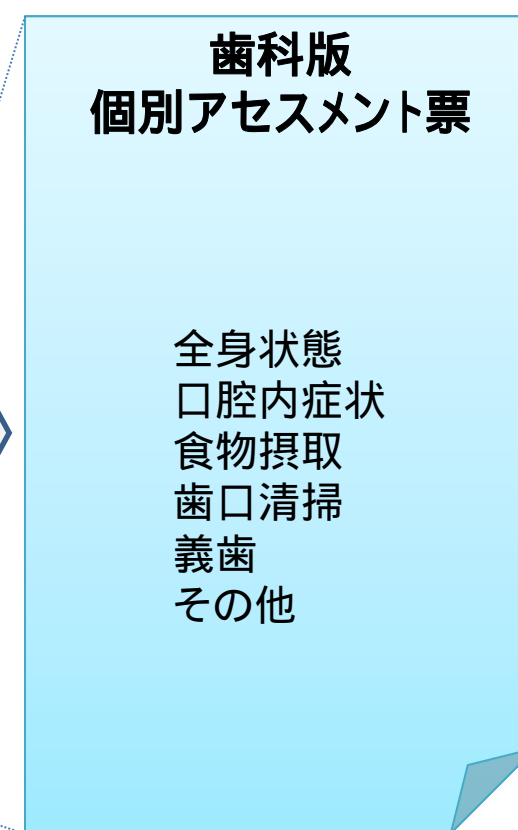
公衆衛生  
歯科職の眼

レベル2 - 集団



臨床的な  
歯科職の眼

レベル3 - 個人





# 各避難所のアセスメント票(レベル2)を入力して簡単な加工で迅速に資料化

130703 先遣隊調査データ一覧.xls [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

MS Pゴシック 11 A A

折り返して全体を表示する

標準

セルを結合して中央揃え

条件付き書式

テーブルとしてセルの形式設定

セルのスタイル

挿入 削除 書式

オートSUM

フィル

クリア

セル

セルの強調表示ルール(H)

上位/下位ルール(T)

データ バー(D)

カラー スケール(S)

アイコン セット(I)

新しいルール(N)

ルールのクリア(C)

ルールの管理(R)

その他のルール(M)

マスク、グループが必要

1	歯科版 避難所アセスメント結果 一覧 ( 日 ) 現在 ~ 発災 ( ) 日目											
2												
3	市町村名	避難者数	高齢者数	高齢者割合	要支援者数	歯磨き場所	うがい用の水	水の確保状況	歯1:十分 2:不足	磨き	歯磨洗剤	口腔ケア用具
4	山田町1	643	228	35	10	1	1	1	1	2	2	2
5	山田町2	286		30	0	1	2	2	1	2	2	2
6	山田町3	50		30	0	1	1	1	1	1		
7	山田町4	20		30	0	1	1	1	1	1		
8	山田町5	160		30		1	2	2	1	2	2	2
9	宮古市1	123		50	0				1	1		
10	宮古市2	250		80	5	1	1		1	1	1	
11	宮古市3	80		50		1	1	1	2	2		
12	宮古市4	73			50	1	1	1	1	1	1	1

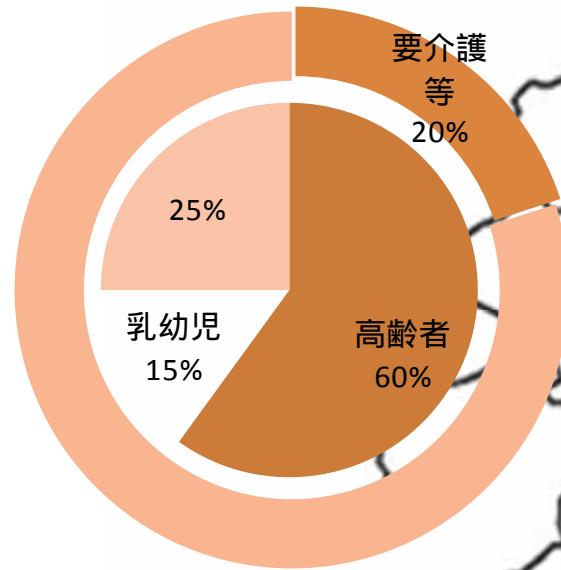
(北原による加工例)

北原稔(神奈川県厚木保健福祉事務所),  
 今後の大規模災害時の公衆衛生歯科機能を考える「災害時口腔保健アセスメントの標準化  
 について」,第31回地域歯科保健研究会(夏ゼミ)in盛岡,平成25年7月27日

# 応用 活用例

(北原による加工例)

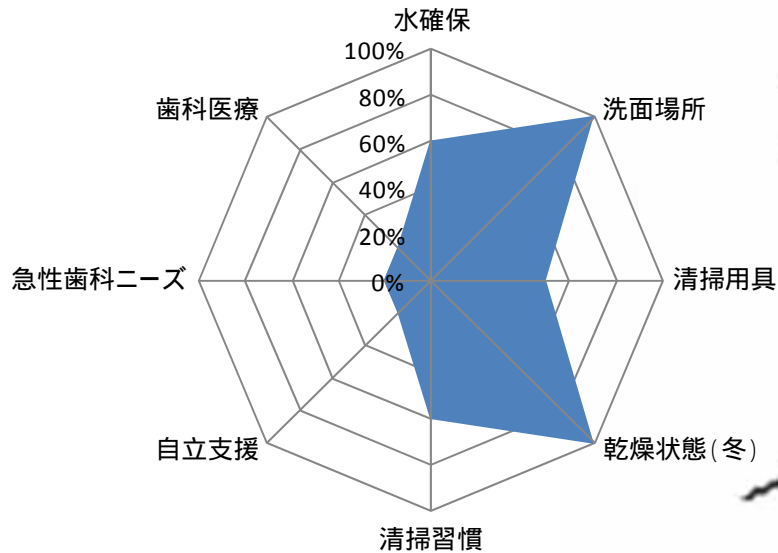
## 山田町 (避難者等総数1,159名)



高年齢者

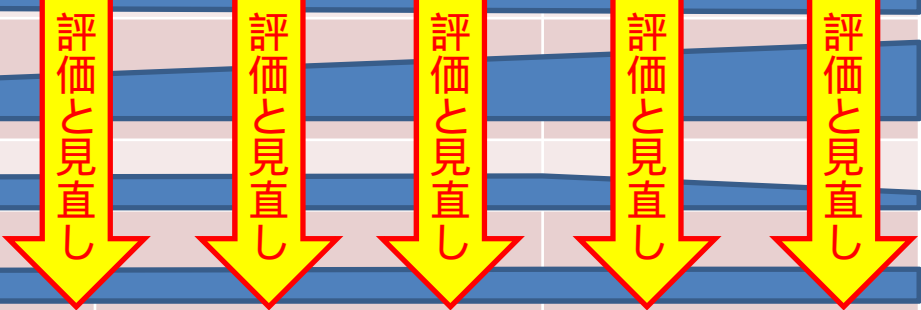
乳幼児

## 山田町 (5避難所等1,159名)



北原稔(神奈川県厚木保健福祉事務所),  
今後の大規模災害時の公衆衛生歯科機能を考える「災害時口腔保健アセスメントの標準化  
について」,第31回地域歯科保健研究会(夏ゼミ)in盛岡,平成25年7月27日

フェイズ		フェイズ1 超急性期	フェイズ2 急性 ~ 亜急性期	フェイズ3 慢性期	フェイズ4 復興期	
時間経過		72時間以内	3日間 ~ 1・2週間	1・2週間 ~ 3ヶ月	3ヶ月以降	
基本的な支援目標		人命救助 安全確保	心身・生活の安全	心身・生活の安全 日常生活への移行	人生の再建 地域の再建	
具体的なニーズの例	集団外傷					
	救急傷病					
	給水と衛生環境					
	食料配給					
	感染症					
歯科アセスメント	迅速評価	課題別	治療・予防	集団評価	治療・予防	個別評価
	レベル1 - 全体	レベル2 - 集団を継続的に		レベル3 - 個別を詳細に		
		公衆衛生職 共通の眼	公衆衛生 歯科職の眼		臨床的な 歯科職の眼	



# 避難所 アセスメント票(例)

## 被災者の健康ニーズ を概要を把握する

### システム

### 細かい基準なし

**レベル1  
(全体レベル)  
フェーズ1**

## 避難所アセスメントシート ver.15

記入救護班名:

西暦 年 月 日

\*アラート情報: なし あり→

組織	地区名:	避難所名:	避難所電話: <input type="checkbox"/> 不通 <input type="checkbox"/> 開通→電話番号:	
	リーダー氏名:	リーダー電話番号:	メールアドレス:	
	既医療支援 <input type="checkbox"/> DMAT <input type="checkbox"/> JMAT <input type="checkbox"/> 日赤 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 国病 <input type="checkbox"/> AMAT <input type="checkbox"/> 都道府県 <input type="checkbox"/> リハ団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし			
人数	収容人数: 人	有症状者 総数: 人	発熱(≥38℃) ( ) 頭痛 ( ) 咳 ( ) 外傷 ( )	
	一人当たり 専有面積: m <sup>2</sup> くらい	症状内訳(人)→	嘔吐 ( ) 下痢 ( ) その他 ( )	
	うち 要配慮 者	要保護 人→	全介助 ( ) 人 一部介助 ( ) 人 認知障害 ( ) 人 乳幼児 ( ) 人 外国人 ( ) 人 その他 ( ) 人→	
		要医療 人→	要酸素(呼吸困難含む) ( ) 人 慢性透析 ( ) 人 インフルエンザ ( ) 人 その他 ( ) 人→	
専門的 医療 ニーズ	小児疾患	有(緊急)・有(※緊急)・無	1歳未満 ( ) 人	
	精神疾患	有(緊急)・有(※緊急)・無	不眠・不安 ( ) 人 精神科疾患 ( ) 人	
	周産期	有(緊急)・有(※緊急)・無	妊婦 ( ) 人 産褥期 ( ) 人	
	歯科	有(緊急)・有(※緊急)・無	歯痛 ( ) 人 入れ歯紛失/破損 ( ) 人	
ライフライン・ 公衆衛生 環境	! (◎十分、○どちらかという上足りている、△どちらかという不足、×皆無)			
	飲料水	◎・○・△・×	<input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給水車 <input type="checkbox"/> 井戸 <input type="checkbox"/> ペットボトル	
	食事	◎・○・△・×		
	電気	◎・○・△・×		
	毛布等の寝具	◎・○・△・×		
	冷暖房	◎・○・△・×		
衛生環境	◎・○・△・×			
トイレ	◎・○・△・×	汲み取り: ◎ (十分または不要) ・ ○ ・ △ ・ ×		
その他				

十分  
どちらかという上足りている  
どちらかという不足  
× 皆無

# 歯科版避難所等 アセスメント票

「災害時公衆衛生歯科機能  
について考える会」提案

避難所等歯科口腔保健  
アセスメント票

(標準化レベル2)

**レベル2  
(集団レベル)  
フェーズ2以降継続**

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版			
No. <input type="text"/>			
※事前把握項目	避難所等名 (施設名)	市町村名	
	避難者数 人 ( 月 日現在)	避難所 責任者氏名	
	評価年月日 西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)	
	評価時在所 避難者数 人 (AM/PM 時現在)	情報収集法 ※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名: ) <input type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り ( 人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 交流活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	評価者氏名 職種 氏名: _____ 所属: _____ 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ( )		
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特にお口衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or %), 不明 b 妊婦 (約 人 or %), 不明 c 高齢者 (75歳以上) (約 人 or %), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or %), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or %), 不明	
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: ) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: )	
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 ( ) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない * (具体的に: )	
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (定期的), 1-② あり (不定期), 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に: _____		

※ 書ききれない情報や処理情報は、特記事項欄に記入してください。 標準化 Ver2.0  
※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし、○まあ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、ー: 不明  
(\*\*県\*\*\*県歯科医師会)

# 歯科版避難所等 アセスメント票

## 項目

### 基本情報 (\* 事前把握)

(1) 対象者\*

避難者数  
高リスク者数

(2) 環境

水・洗口場の  
確保状況

(3) 用具

歯ブラシ・歯磨剤  
の確保状況

(4) 行動

口腔衛生行動  
介助の有無

(5) 症状

痛みや不自由さ  
の有無

(6) 歯科医療

歯科保健医療  
の確保状況

その他

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版			
			No. <input type="text"/>
避難所等名 (施設名)			市町村名
避難者数	人 ( 月 日現在)		避難所 責任者氏名
評価年月日	西暦 20 年 月 日		連絡先 (電話等)
評価時在所 避難者数	人 (AM/PM 時現在)		※ 実施した方法をすべてチェック <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名: ) <input type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り ( 人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 交流活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ( )
評価者氏名 職種	氏名: _____ 所属: _____ 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護士 4 医師 5 その他 ( )		
項目	簡易評価	確認項目 (* 確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特にお口衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or %), 不明 b 妊婦 (約 人 or %), 不明 c 高齢者 (75歳以上) (約 人 or %), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or %), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or %), 不明	
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: ) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: )	
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 ( ) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない * (具体的に: )	
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (定期的), 1-② あり (不定期) 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に: _____		

※ 書ききれない情報や処理情報は、特記事項欄に記入してください。 標準化 Ver2.0  
 ※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし、○まあまあ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、ー: 不明  
 (\*\*県\*\*\*県歯科医師会)

# 大規模災害時の 歯科医師会行動計画

改訂版

平成 25 年 6 月

公益社団法人 日本歯科医師会  
災害時対策・警察歯科総合検討会議

災害支援活動  
歯科衛生士実践マニュアル

**レベル3  
(個人レベル)  
フェーズ3以降継続**

公益社団法人日本歯科衛生士会

1 被災地での歯科衛生士活動

# 歯科医療・ 口腔ケアニーズ調査票 (歯科衛生士用)

(5) すぐに活用できる各種様式 (監修: 中久木康一先生 (東京医科歯科大学大学院))

① 歯科衛生士調査様式

歯科衛生士が避難所等でニーズ調査を行う時に使用する様式です。

歯科医療・口腔ケアニーズ調査票

調査日: / /

調査場所:

ふりがな 氏名	男 女	年齢	<input type="checkbox"/> 0~5歳 <input type="checkbox"/> 6~18歳 <input type="checkbox"/> 19~64歳 <input type="checkbox"/> 65歳以上	介護認定 <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援1・2 <input type="checkbox"/> 要介護
住居場所 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 仮設住宅 <input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
ア セ ス メ ン ト 項 目	洗口の問題	ある……・歯ブラシ等ケア用品 ( ) ・水 (洗口液等) ない	ない・ある ない・ある	
	口腔内の問題	ある……・歯がしみる・痛む ・歯肉の腫脹・出血している ・口内炎等粘膜の問題がある ・口が開かない・開けると痛い ・口の中が汚れている (全体・一部) ・舌苔がついている (全体・一部) ・口臭がある ・その他 ( ) ない	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ	
	食事の摂取と誤嚥の問題	ある……・硬いものが食べにくい (お弁当など) ・食事中むせる・咳き込む・痰がからむ ・その他 ( ) ない	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ	
	お口の環境の問題	ある……・唇や口の中が濡れている ・口臭が気になる ・歯みがきができない・不十分である ない	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ	
	義歯の問題	ある……・義歯がない・壊れている ・義歯が合わない・噛みにくい ・義歯を持っているがはずしている ・義歯の清掃が十分にできない ない	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ	
	全身	ある ・喉が痛い・不快である ・咳がよく出る ・熱がよく出る ・薬を飲んでいる (病名 ) ない	はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ はい・いいえ	
	特記事項 (バリエーション・現症等)			
歯科保健指導	不要・要 ( )			
歯科医師への連絡	不要・要 ( )			
口腔ケア	不要・要 ( )			
その他 (支援物資等も含む)	不要・要 ( )			
担当者 所属・氏名				連絡先

[https://www.jdha.or.jp/pdf/saigai\\_manual2.pdf](https://www.jdha.or.jp/pdf/saigai_manual2.pdf)



個別

② 支援者調査様式（個別用）

他の支援者が避難所等において、個別にニーズ調査を行う時に使用する様式です。（個人情報）

歯科医療・口腔ケアニーズ調査票

～支援者のみなさまへ～

災害後の避難所において、お口の清掃や機能を保つことは、肺炎やインフルエンザなどの感染症の予防や免疫力を保つことに効果的です。下記項目について聞き取りをしていただき、より必要な人に必要な時期により良い支援を届けることができるように口腔ケア班にお渡し願います。歯科医師・歯科衛生士が対応できるようにいたします。



なお、この票は、個人情報のために

調査日： / / 調査

ふりがな 氏名	
居住場所 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 仮設住宅 <input type="checkbox"/>	
聞き取り項目	歯みがきをする時の問題 ある……歯ブラシ・水（洗） ない
	口の中の問題 ある……歯が痛・歯ぐき・舌が汚・唇や口・口臭が・口の中 ない
	食事の時の問題 ある……硬いもの・食事中・その他 ない
	入れ歯の問題 ある……入れ歯・入れ歯・入れ歯 ない
	上記以外に、何かありましたらご
担当者 所属・氏名	

③ 支援者調査様式（集団用）

他の支援者が避難所・施設等で、集団でニーズ調査を行う時に使用する様式です。自由記載などの活用方法は注意が必要です。（個人情報）

集団

歯科医療・口腔ケアニーズ調査票

調査年月日 / / 調査場所：

No( )

申し込み事項等がありましたらご記入ください。				対応場所：避難所・施設・在宅・仮設住宅・その他（ ） 当日の避難所・施設・在宅・仮設住宅等の登録人数（ ）					
所属・氏名		連絡先							
	名前	年齢	性別	聞き取り項目				追加 対応	特記事項
				歯みがきをする時の問題 (歯ブラシ・ケア用品・水がない)	口の中の問題 (歯の痛み等・歯ぐきの痛み等・舌の汚れ・口が渇く・口臭・口の中の汚れ)	食事の時の問題 (硬いものが食べにくい・食事中むせるなど)	入れ歯の問題 (入れ歯がない・壊れている・合わない・噛みにくい・保管ケースがない)		
1		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
2		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
3		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
4		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
5		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
6		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
7		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
8		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
9		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	
10		□0～5 □6-18 □19-64 □65～	男女	ない ・ ある	ある ・ ない	ある ・ ない	ある ・ ない	要 不要	

⑤ 歯科衛生士様式（集団用）

歯科衛生士が、避難所・施設等において、集団を対象に行う歯科保健相談・口腔ケア・指導をする時の様式です。

一覧表

歯科保健相談・口腔ケア・指導実施連名簿

実施年月日 / / 実施場所： No( )

申し込み事項（ある場合のみ）・感想等				対応場所：避難所・施設・在宅・仮設住宅・その他（ ） 当日の避難所・施設・在宅・仮設住宅等の登録者人数（ ）									
				所属・氏名			連絡先						
	名前	年齢	性	相談内容	指導内容							継続指導	特記事項
					1 歯面清掃	2 歯間部清掃	3 舌・粘膜の清掃	4 義歯の清掃	5 うがい	6 口腔機能訓練	7 その他		
1		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
2		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
3		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
4		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
5		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
6		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
7		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
8		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
9		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										
10		<input type="checkbox"/> 0~5 <input type="checkbox"/> 6-18 <input type="checkbox"/> 19-64 <input type="checkbox"/> 65~	男女										

個別記録

④ 歯科衛生士様式（個別用）  
歯科衛生士が避難所等において、個別に口腔ケアや相談を行う時に使用する様式です。

歯科保健相談・口腔ケア・指導票

相談・指導日： / / 実施場所：

ふりがな氏名	男・女	年齢	<input type="checkbox"/> 0~5歳 <input type="checkbox"/> 6~18歳 <input type="checkbox"/> 19-64歳 <input type="checkbox"/> 65歳以上	介護認定	<input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援1・2 <input type="checkbox"/> 要介護
住居場所	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 仮設住宅 <input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
主訴					
口腔内の状態	1 きれい 2 ふつう 3 汚れている 4 非常に汚れている 5 食渣が多い				
相談・口腔ケア・指導内容	1 歯面清掃 2 歯間部清掃 3 舌清掃 4 粘膜清掃 5 義歯の清掃 6 うがい 7 口腔機能訓練 8 唾液腺マッサージ 9 その他 ( )				
配付物	1 歯ブラシ 2 歯間ブラシ 3 コップ 4 義歯ブラシ 5 義歯洗浄剤 6 義歯ケース 7 義歯安定剤 8 洗口剤 9 歯磨剤 10 保湿剤 11 フロス 12 パンフレット 13 その他 ( )				
申し込み事項					
継続指導	要・否	担当者所属・氏名	連絡先		

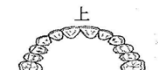
公益社団法人日本歯科衛生士会作成

歯科保健相談・口腔ケア・指導票  
(歯科衛生士用)

[https://www.jdha.or.jp/pdf/saigai\\_manual2.pdf](https://www.jdha.or.jp/pdf/saigai_manual2.pdf)

ご本人控え

相談・指導日： / /

ふりがな氏名		
お口の状態		
歯みがきの状態		

⑥ 歯科衛生士様式（集団用）

集団指導

歯科衛生士が、施設・保育所・学校等において健康教育を行った時に記入する様式。

歯科健康教育等

実施日： / / : 実施場所：

避難所等名	住居場所 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 仮設住宅 <input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 当日の避難所・仮設住宅・施設・保育所・幼稚園・学校等の総人数 ( )		
対象	1 妊産婦 2 幼児 3 児童・生徒 4 成人 5 高齢者 6 障害児(者) 参加人数 ( )		
実施内容 (簡単に)			
支援物資の補 充の必要性			
申し送り事項			
担当者氏名 連絡先 (参加した歯科衛生 士名を全て記入)	所属歯科衛 生士会及び 従事者名		
	代表者 氏名	連絡先	

公益社団法人日本歯科衛生士会作成

⑦ 歯科衛生士様式

日計票

歯科衛生士が、その日に行った指導人数を計上し依頼先に報告する様式

歯科衛生士活動報告書

実施日： / / : 実施場所  
【個別指導人数：歯科医療に従事した時の指導も記入】 (単位：人)

指導場所	指導場所 の総人数	参加者の 総人数	内 訳						
			妊産婦	乳幼児	児童・生徒	成人	高齢者	障害児・者	その他
1 避難所									
2 仮設住宅									
3 障害児者 施設									
4 保育所・ 幼稚園									
5 学校									
6 介護施設									
7 その他( )									
合計									

【集団指導人数】 (単位：人)

指導場所	指導場所 の総人数	参加者の 総人数	内 訳						
			妊産婦	乳幼児	児童・生徒	成人	高齢者	障害児・者	その他
1 避難所									
2 仮設住宅									
3 障害児者 施設									
4 保育所・ 幼稚園									
5 学校									
6 介護施設									
7 その他( )									
合計									

【申し送り事項】

申し送り先	内 容

担当者 所属・氏名	連絡先
--------------	-----

公益社団法人日本歯科衛生士会作成

# 災害時歯科保健医療における 口腔アセスメント

- 災害時の歯科保健医療
- 口腔アセスメント票の標準化
- **口腔アセスメント票の活用**
- 期待される支援を提供するために

# アクションカード

災害時歯科保健医療支援アクションカード

## 全員共通

### 《避難所等歯科標準アセスの説明》

- 本部に集合
- 名札の着用
- 本部の指示で、各チーム編成（結果を本部白板に記載）
- アセス票・持参物品の確認、交通手段等の確認、天候の確認
- 担当部署へ出発



### 《担当部署》

避難所（一般）

病院

福祉避難所  
高齢者・障がい者・福祉施設等

各アクションカード参照



### 《帰着後》

- チーム内での共有情報内容の再確認（ポイント記録）
  - ・避難所等の状況共有
  - ・実施上の課題整理（人員物品の過不足、アクセス、その他トラブル等情報）
- 代表者が本部に報告（メモ提出）
- 標準アセス票の提出と小計表への記載（PCへの入力）

災害時歯科保健医療支援アクションカード

## 避難所（一般）

### 《出発時チームミーティング》

- チーム構成員と役割分担（班長/記録係等の選定）の確認
- 現地状況、担当部署等の確認
- 避難所の事前情報を確認、アセス票の必要事項の事前記載
- 道路状況・交通手段・天候予報等の確認



### 《避難所到着と任務実施》

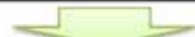
- 避難所責任者(担当者)に挨拶、「避難所等責任者へ」手渡説明
- 基本状況等の確認・観察（トイレ、衛生状態、食事支援、医療支援、近隣医療機関など）
- 可能な情報収集方法でアセス票（レベル2）を埋める
- その他の情報はメモとして記載

### 《避難者直接の聞き取り等の注意点》

- 挨拶、聞き取り目的と個人情報保護の確認
- 環境観察や行動観察も忘れない
- 必要時は可能な支援・応急対応を行うが、短時間に留め、状況によりチーム分けて本隊チームは予定通りにアセスを進める

### 《異常発生時》

- 避難所責任者(担当者)に報告
- 本部に電話連絡
- 連絡つかない場合、チームの判断で安全第一の臨時応急の処置をとる



### 《避難所責任者への報告と帰着》

- 避難所責任者に結果報告（記録複写の提出）
- チーム員点検の後、次の避難所・居宅・施設又は帰着へ

（帰着後は全員共通アクションカード参照）

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版 (例)

※事前把握項目	避難所等名 (施設名)	*E* 総合センター		市町村名	**市	
	避難者数	350 人 (4月15日現在)		避難所 責任者氏名	T山さん	
	評価年月日	西暦 2011年4月15日		連絡先 (電話等)	000-0000-0000	
	評価時在所 避難者数	100人 (AM/PM 11時現在)		情報収集法	※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input checked="" type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名: センター長T山さん、看護師さん) <input checked="" type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り (15 人程度) <input checked="" type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
評価者氏名 職種	氏名: 中久木康一 所属: TMDU 職種: <input checked="" type="radio"/> 1 歯科医師    2 歯科衛生士 3 保健師・看護師    4 医師 5 その他 ( )					
	項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)			特記事項
※事前把握項目	(1) 特に口腔衛生 に配慮が必要 な対象者		a 乳幼児 (就学前)	(約 10 人 or%)	不明	
			b 妊婦	(約 2 人 or%)	不明	
			c 高齢者 (75 歳以上)	(約 100 人 or%)	不明	
			d 障がい児者・要介護者	(約 20 人 or%)	不明	
			e 糖尿病等の有病者	(約 人 or%)	不明	

項目	簡易評価	確認項目（※確認できれば数値や具体的内容を記載）	特記事項
(2) 口腔清掃等 の環境	(◎ ○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 ① 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: ) b 歯磨き等の場所 ① 充足, ② 不足*, 3 不明 * (具体的に: プライバシー守れず)	
(3) 口腔清掃用具 等の確保	(◎ ○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) ① 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) ① 充足, ② 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 ① 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ ① 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 ① 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース ① 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 (義歯洗浄剤) ① 充足, ② 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎ ○・△・×・ー)	a 歯磨き ① している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 義歯清掃 ① している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 ① している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 ① している, 2 ほとんどしていない, 3 不明	看護師、介 護福祉士協 会が対応
(5) 歯や口の 訴え・異常	(◎ ○・△・×・ー)	a 痛みがある者 ① いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 ① いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 ① いる (約 人), 2 確認できない * (具体的に: )	

◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、ー：不明

項目	簡易評価	確認項目（※確認できれば数値や具体的内容を記載）	特記事項
(6) 歯科保健医療 の確保	(◎・○・△・×・－)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1あり, 2ない, 3不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり(定期的), 1-②あり(不定期) 2ない, 3不明	歯科医師会 へ依頼は可
その他の問題	具体的に：	肺炎、インフルエンザなし。食中毒なし。 食事偏りあり。余震で夜泣き、お菓子多い。 魚の腐った臭いひどい、はえ大量発生中。	(先週、鹿児島 の先生がきて入 れ歯11人診た)

※ 書ききれない情報や経過情報は、特記事項欄に記入してください

標準化 Ver2.0

※ 簡易評価の定義：◎良好・問題なし、○まあ良好・まあ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、－：不明

(\*\*県・\*\*\*県歯科医師会)



# 災害時歯科保健医療における 口腔アセスメント

- 災害時の歯科保健医療
- 口腔アセスメント票の標準化
- 口腔アセスメント票の活用
- 期待される支援を提供するために

## 災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team)



発災からの  
各期に災害時  
健康危機管理  
支援チームに  
期待される役割

初期の公衆衛生ニーズのアセスメントの支援  
 外部から派遣が必要な公衆衛生職種・人数の把握

被災地の公衆衛生責任者の意思決定を補佐

情報の「見える化」と災害対策本部への情報還元

広域的視点でのマネジメントの支援

管轄市町村ごとの情報分析・見える化(地域間格差)

県災害対策本部, 県現地対策本部, 市町村対策本部への報告

アセスメント結果に基づいた保健医療チームの調整

廃棄物, 汚水, 水道等の環境衛生対策

中長期的な保健医療再建計画の策定支援

※発災からの時間  
はあくまで想定

# 「歯科」が必要とされるためには

- 同じ言語、同じ質を担保する
- 教育研修体系の一元化が必要
- 認定もでき、派遣候補リストともなる
  
- 必要な患者さんに必要なケアを必要なタイミングで届ける
- 必要なのは組織としての統一性と継続性
- 不必要なのは個人の判断

歯科として、まとまろう！

# 日歯広報

1636号

2015年(平成27年)

1月15日



## 災害歯科保健医療連絡協を設置

第23回理事会が12月18日(木)、歯科医師会館で開催され、日歯主導の下、歯科関連団体による災害歯科保健医療連絡協議会を設置することを決定した。本連絡協議会の目的は、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うこと。▽災害時における行政・他業種等の対外的な窓口▽災害時の各団体との連携、派遣調整(自衛隊歯科との連携)▽情報センター機能として資料整理―などを協議する。オブザーバーとして、日医(JMAT関係者)を始めとする多職種団体や学会、厚労省、自衛隊歯科等にも参加を求める予定。

### 第23回理事会



左から社会保険担当の死森正造理事、梶原郎常務理事、山口武之理事

# 災害歯科保健医療連絡協議会の設置について

平成27年4月設置

## 【設置目的】

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、JMATと帯同する病院歯科医師から、中長期の仮設住宅・高齢者施設等への口腔ケアや歯科相談等の提供に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、歯科関連団体の協議会を設置する。

## 【参加団体・人数】

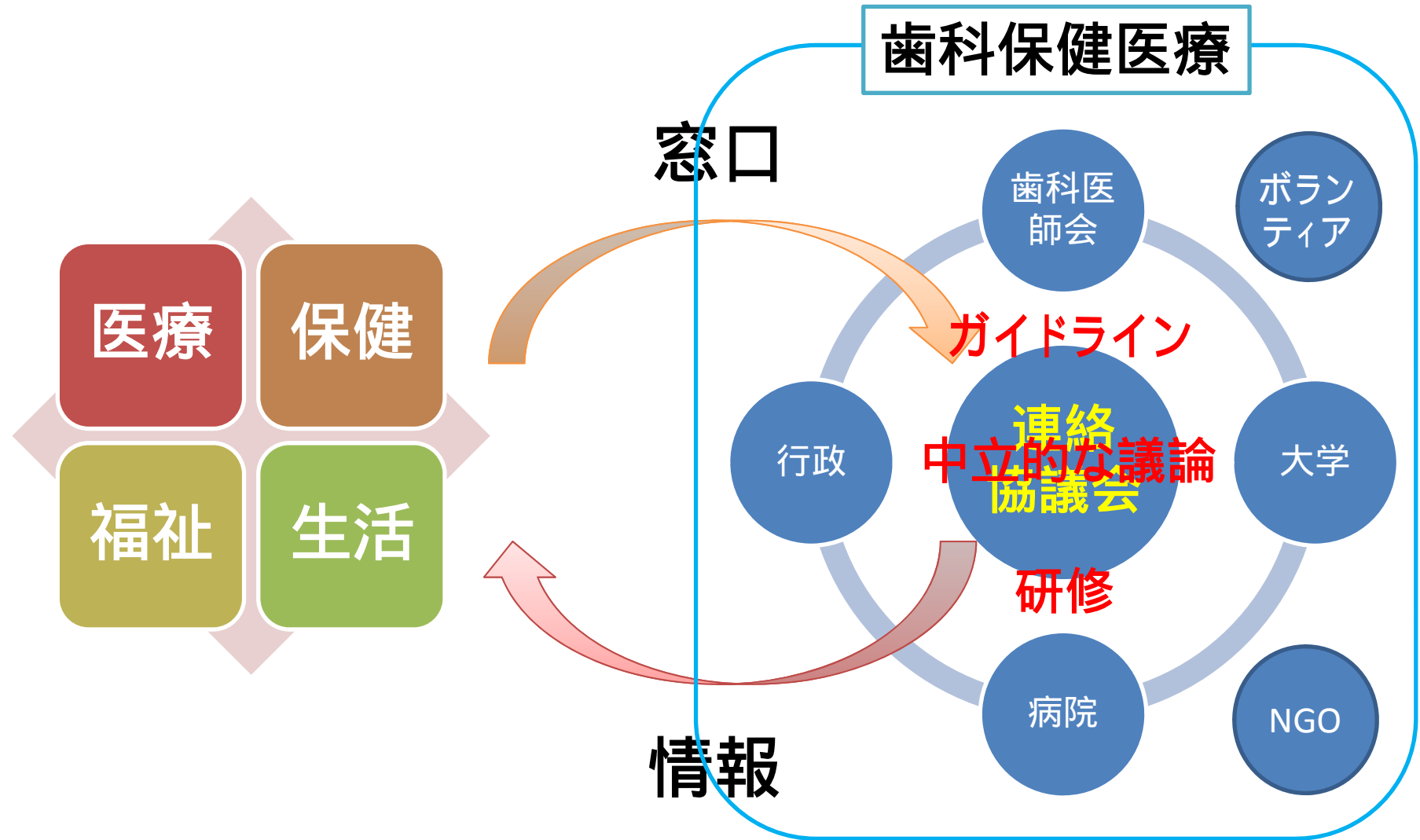
・日本歯科医師会 ・都道府県歯科医師会：全国7地区代表者 ・日本歯科医学会 ・日本私立歯科大学協会 ・国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議 ・全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 ・日本病院歯科口腔外科協議会 ・日本歯科衛生士会 ・日本歯科技工士会 ・全国行政歯科技術職連絡会 ・日本歯科商工協会

オブザーバー：厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、自衛隊歯科、必要に応じてその他追加

## 【主な協議内容】

- 1) 災害時における行政・他業種等の対外的な窓口
- 2) 災害時の各団体との連携、派遣調整(自衛隊歯科との連携)
- 3) 情報センター機能として資料整理
- 4) 避難所等標準口腔アセスメント票 統一版の作成・周知
- 5) 人材育成、情報共有のための仕組みの構築
- 6) 各団体登録者リストの作成
- 7) 協議会設置のPR・広告
- 8) 歯科関係団体災害時対応マニュアルの改訂
- 9) 医療関係職種・団体との連携

# 災害歯科保健医療連絡協議会



# 実際に期待される稼働を得るために

- 災害時歯科保健医療と歯科との連携
  - まずは歯科内での体制整備を！
  - そして、コーディネーターの養成を！
- 歯科医師会内のICS(指揮命令系統)
- 歯科医師会内の迅速アセスメント
- 災害時の研修と認定
  - ひきつづき、歯科界を統一！
- 各歯科医院における防災対策
  - 個別の対応ができていることが前提！



# 今後に向けての提案

- 統一した研修の媒体・方法
  - より実践的、より体験的に
- 共通認識、共通言語
  - スフィアスタンダード、HAP基準2010
  - (人道支援の品質管理や説明責任についての国際基準)
  - 2014年12月12日、Core Humanitarian Standard(CHS)発行
- 多職種での研修
- 認定→登録→継続→更新
  - 派遣依頼を受ける仕組み
  - 派遣時のロジスティックの共有、協力
- オープンに(非会員、DH、DT)

なぜ？

ラピッドアセスメント

なぜ？

標準化

**基本は？**

**地域歯科保健医療の**

**BCP**

**まずもって**

**自分(家族・自宅・医  
院・スタッフ)の防災**

# 歯科保健活動を通じて

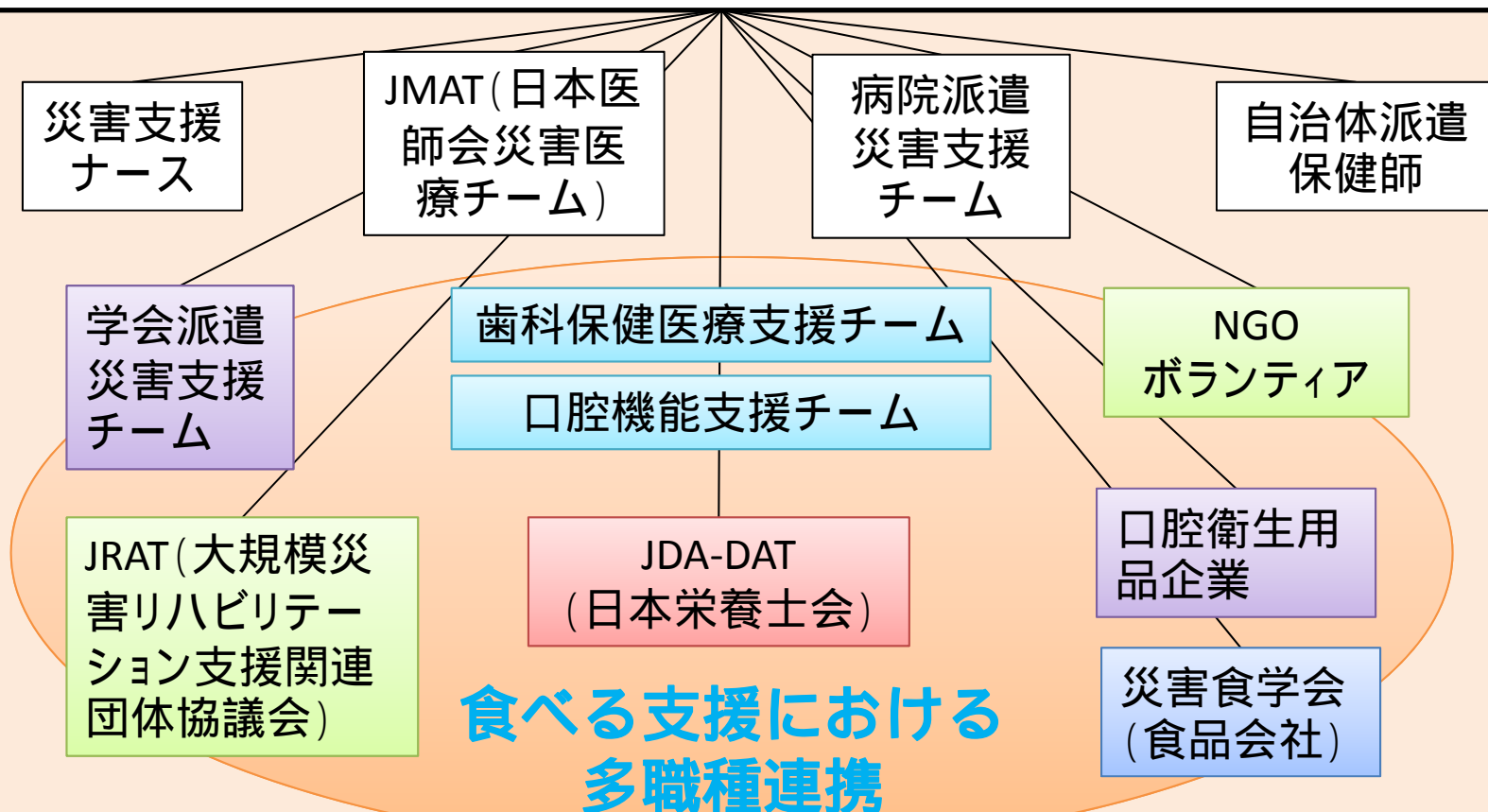
歯と口の健康を，  
生活の質を，  
食の楽しみを，  
そして  
健康寿命の延伸を

# 災害時の連携

中々本康、災害時歯科保健医療における口腔アセスメント  
全国7地区、日本歯科医師会 平成28年度災害コーディネーター研修会

## 災害対策本部

### 災害医療コーディネーター DMAT / 日赤 / 災害医療センター



食べる支援における  
多職種連携

# 国立保健医療科学院



国立保健医療科学院

歯科口腔保健の情報提供サイト（通称：歯っとサイト）

Home

国立保健医療科学院TOP

咀嚼支援のページ

歯科保健医療における需要と供給

Search Google

根拠法令

事業の事例など

啓発資料

マニュアル・手引き類

学術情報

データ

基礎知識

災害対策

リンク

行歯会

ご意見・ご要望

## 災害対策

### 口腔保健・歯科医療関係

「被災地での健康を守るために」(厚生労働省) (平成23年3月18日) [\[読む\]](#)

大規模災害時における口腔ケア活動の意義と実際 (厚生労働省) [\[読む\]](#)

神奈川県保健福祉事務所 歯科医師・歯科衛生士研究会作成のポスターとマニュアル

ポスター：避難所で口腔ケア(お口の衛生)のおすすめ [\[読む\]](#)

マニュアル(6頁)：災害時避難所口腔ケア支援の手引き(保健師・看護師用) [\[読む\]](#)

神戸市 口腔ケア啓発用ポスター [\[読む\]](#)

日本歯科衛生士会「災害支援活動 歯科衛生士実践マニュアル」 [\[読む\]](#)

日本口腔ケア学会 [\[読む\]](#)

災害時の口腔ケア・歯科治療 平易な「Q&A」 [\[読む\]](#)

防災にオーラルケア(サンスター) [\[読む\]](#)

災害時の避難所等口腔保健アセスメントの標準化について(災害時公衆衛生歯科機能について考える会) [\[読む\]](#)

### 災害時の健康情報全般

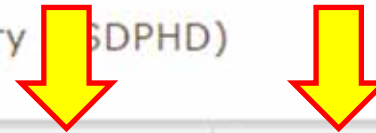
国立保健医療科学院



# 災害時公衆衛生歯科研究会 <http://jsdphd.umin.jp/>

日本災害時公衆衛生歯科研究会

Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (JSDPHD)



ホーム	団体概要	研修会概要	資料ダウンロード	報告書・関連書籍	ML登録
-----	------	-------	----------	----------	------

## 事務局

▶ お問い合わせ

## 新刊書籍紹介

▶ 災害時の歯科保健医療対策  
【2015年6月15日発売】



リンク

## お知らせ

- 2015-07-08 第64回口腔衛生学会ポシウム「東日本大震災後の関係機関における災害時歯科保健医療の取組と規模災害に備えて～」資料を公開しました。
- 2015-06-15 本研究会編集の書籍「災害時の歯科保健医療対策」が発売されました。
- 2015-05-15 ホームページを公開しました。
- 2015-04-15 日本災害時公衆衛生歯科研究会が発足しました。

DL資料

ML登録



2015年6月15日発刊  
2000円！

2016年7月10日発刊  
1800円

